社協だより ふれあい

No.66

2022年
1月14日

〒039-2371
青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柴山3-9
電 話 0176-55-2943
FAX 0176-55-2947
メール rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp

高齢者疑似体験を通して 高齢者の大変さを学びました

▲実際のお金を使って、買い物体験をしてもらいました。

１１月１９日（金）大曲小学校で、出前福祉講座「高齢者疑似体験」を実施しました。体験した６年生から「お金を数えるのも大変だし腕も重かった」「ひざが曲がりにくく、物も近くで見ないと見えない」など、体験をとおして高齢者の気持ちや大変さを理解してもらいました。（関連記事６ページ）

主な内容

▶福祉大会表彰／寄付報告 ・・・・・・・・・・・Ｐ２
▶事業のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
▶生活福祉資金貸付制度／相談窓口のご案内 ・Ｐ４
▶青森しあわせネットワークのご案内 ・・・・Ｐ５
▶事業実施報告 ・・・・・・・・・・・・Ｐ６～Ｐ７
▶２月の予定／脳トレクイズ ・・・・・・・・・Ｐ８

◀視界が狭い状態で電話帳から電話番号を探しました。

社協だよりは皆さんからいただいた社協会費と赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

六戸町社協 検索

ホームページ http：//www.rokunohefukusi.jp/

第26回 六戸町社会福祉協議会 表彰授与式

▲授与式に参加いただいた被表彰者の皆さん

12月１日（水）六戸町老人福祉センターにおいて第26回六戸町社会福祉大会表彰授与式並びに上北郡社会福祉大会と青森県老人クラブ連合会の表彰伝達式を開催しました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、受賞者のみの参加により行いました。

受賞された方は次のとおりです。

【感謝の部】

▶寄 付 者　株式会社河野電気工業　様

▶団体会員　六戸町商工会　様　　有限会社吉田造園企画　様　　川尻商会　様

【赤い羽根共同募金】

▶青森エンジニアリング株式会社　様　　六戸中央印刷　様　　もりとみ　様
マインマート鈴舎　様　　沼田医院　様　　スノヤ商店　様　　水無月　様
旭商事株式会社旭商事生コン　様

第71回上北郡社会福祉大会 表彰伝達式

【表彰の部】

▶株式会社河野電気工業　河野　崇　様

【感謝の部】

▶デーリー東北六戸販売所　山内　一豊　様

▶柴山　みつ江　様

青森県老人クラブ連合会 表彰伝達式

【表彰の部】　▶小笠原　邦定　様

【感謝の部】　▶佐藤　譲　様

【在宅寝たきり高齢者の介護者特別顕彰】

▶田中　恵子　様

みなさまの善意に感謝

（令和３年９月１日～令和３年12月31日まで）

【寄　付】

▶平舘信二　様　　３，０００円

▶デーリー東北六戸販売所　山内一豊　様　　２０，０００円

※古新聞、折込チラシ回収収益金をご寄付いただきました

▶田中孝雄　様　　１０，０００円

▶匿　　名　　３，０００円

▶匿　　名　　２０，０００円

【ひとり親世帯への支援】

▶新井山貴之　様
玄米（もち米）30kg、うどん、缶詰、飲料ほか

▶デーリー東北六戸販売所　山内一豊　様
ボックスティッシュ５箱組　36個

▶田名部裕子　様
玄米３０kg、マスク３箱、カップ麺、缶詰ほか

▶匿　　名　　白米13kg

▶匿　　名　　玄米90kg、じゃがいも５kg

▶匿　　名　　玄米30kg

【個人で寄付をされた方へ】

社会福祉法人に寄付をされた個人は、確定申告によって所得税法上の寄付金控除が受けられます。

税額控除額の算定式　〔税額控除対象寄付金－２，０００円〕×４０％＝控除対象額

※詳しくはお近くの税務署や税理士にご確認ください。

24時間対応 緊急通報装置福祉安心電話

福祉安心電話とは、電話回線を利用し、ボタンを押すだけで24時間緊急を知らせることのできるシステムです。近隣住民や関係機関が連携し、日常の困りごとや病気・障害などによる不安を解消し、設置者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援していきます。

また、付属として熱を感知し自動で通報してくれる火災報知器も設置されます。

- ●設置対象：ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等
- ●設置費用：無　料
- ●必要な物：電話回線、固定電話
  ※携帯電話では設置できません
- ●協力員：民生委員を含めた近隣住民４人

地域課題解決のお手伝い 地域づくりワークショップ（福祉座談会）

ワークショップとは、参加者が主体となり参加者全員がテーマにそって話し合うことで、地域で抱える課題解決に向けた仕組みを考える手法のひとつです。

地域で抱える悩みを何とかしたいと思っている地域の皆さん、職員を派遣しますので課題解決に向けた話し合いをしてみませんか？

【テーマ例】

・雪かき　・自主防災　・町内会行事　・会費の問題
・高齢者支援　・ゴミ問題　など今、地域で話し合いたいもの

■申込み・問い合わせ先　六戸町社会福祉協議会　☎55－2943
メール　jumonji.t@rokunohefukusi.jp

あなたの生活をちょっとお手伝い 生活支援パートナー派遣事業

こんなお悩みありませんか？

・部屋の荷物を整理したいけど、ひとりでは大変
・買い物したけど荷物が重くて持って帰るのが大変
・庭の草取りを手伝ってくれる人がほしい　など

- 一人暮らし高齢者または高齢者のみの世帯の方がご利用いただけます。
- 利用料金は10分100円となります。
- 派遣は、月曜から金曜までの平日とし、できるだけパートナーと一緒に活動を行います。
- 車両での送迎は行っておりません。

問い合わせ先　☎55－2943

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金とは、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象とし、資金の貸付とそれに伴う必要な相談支援を行うことにより、その世帯の自立を図り、安定した生活を継続して営めるように支援する制度です。

都道府県社会福祉協議会を実施主体として、県内の市町村社会福祉協議会が相談・申込みを受付しています。

総合支援資金	教育支援資金	福祉資金	不動産担保型生活資金
●**生活支援費** 単　身　　月額15万円以内 ２人以上　月額20万円以内 ●**住宅入居費**　40万円以内 ●**一時生活再建費**　60万円以内 ・失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯 ・原則として法に基づく自立相談支援事業及び関係機関による支援を継続的に受けることに同意していること	●**教育支援費** 低所得世帯が、高校、大学または高専に修学するのに必要な経費 ・高校 月額3.5万円以内 ・高等専門学校、短期大学 月額6万円以内 ・大学 月額6.5万円以内 ※特に必要と認められる場合に限り上限額の1.5倍 ●**就学支度費** 高校、大学、高専への入学に際し必要な経費	●**福祉費** 生業費・技能習得費・福祉用具等購入費・障害者自動車購入費・負傷又は疾病の療養に必要な経費・介護サービス費等・冠婚葬祭費・住居移転費等・就職等支度費 ・日常生活を送るうえで、一時的に必要と見込まれる費用 ●**緊急小口資金** ・緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の少額の費用 貸付限度額　10万円以内	●**不動産担保型生活資金** ●**要保護世帯向け不動産担保型生活資金** ※一定の住居用不動産を所有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯もしくは要保護の高齢者世帯に対して当該不動産を担保として生活費を貸付ける資金

◆◇◆◇◆　まずはお電話を　◆◇◆◇◆

六戸町社会福祉協議会　☎55－2943

ひとりで悩まずに、まずはご相談ください

年代性別を問わず、福祉にかかる様々な悩みごと（障害、介護、家族、金銭、就労、生活など）の受け止めと課題解決に向けた支援体制づくりとして、六戸町社会福祉協議会では福祉総合相談窓口を設置しております。

専門職員がご相談内容を整理し、適切な関係機関へのご案内や、お悩み解決に向けた支援を行い、経済的・社会的自立に向け寄り添っていきます。

相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご連絡ください。

◆ 福祉総合相談窓口 ◆
六戸町社会福祉協議会
☎55－2943

問い合わせフォーム

六戸町大字犬落瀬字柴山３－９
（六戸町老人福祉センター内）
月曜日～金曜日　８：15～17：00
（土日・祝日・年末年始を除く）

社会福祉法人の社会貢献活動

青森市しあわせネットワーク

青森県内の社会福祉法人が連携し、既存の制度やサービスでは対応できない課題に迅速に対応するために、支援が必要な人を早期に把握し、具体的な解決を図ることによって、社会福祉法人の使命を積極的に果たしていこうという活動です。

No.	活　動	内　容
1	総合相談（トータルサポート）	制度の狭間の生活困窮などのさまざまな課題を抱える方に対し、関係機関や地域住民と連携し、既存の制度や機関に適切につないだり、自立支援のための総合的な相談支援を行います。
2	経済的支援（ライフサポート）	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にあり、援助の実施により一定の生活の安定が見込める場合に、概ね５万円を限度とした経済的援助を現物支給で行います。
3	食糧等の提供（フードサポート）	既存の制度やサービスによる支援が受けられず、緊急性を要する生活困窮状態にある方に対し、食糧等の提供を行うために、必要な食糧等を備蓄し、必要に応じて提供を行います。
4	就労体験・社会参加活動の提供（ワークサポート）	就労に不安のある方や、就労や社会参加活動を希望する方に対し、社会福祉法人の機能を活用し、就労の場や社会参加活動の機会を提供します。
5	その他	既存の制度やサービスでは対応できない新たな課題に対し、社会福祉法人が有する資源を活用し、社会参加や生きがい支援、居場所づくり、中間的就労や就労支援、子どもの学習支援や育児支援などその他必要な活動を行います。

県内で行われた相談事例紹介

六戸町内の青森しあわせネットワーク参加法人

★社会福祉法人楽晴会　★社会福祉法人もみじ会
★社会福祉法人六戸福祉会
★社会福祉法人六戸町社会福祉協議会

Aさん（４０代　女性）

本人の状況　ひとり親、経済的困窮
世帯の構成　母親、成人した息子、中学生の子
相談内容　母親と息子で生計を立てていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により職業を失い、母親の収入だけでは生活が厳しい。生活費にあてるため車を売り、携帯電話を解約するが、公共料金を滞納しており、食べるものも底をついてしまった。

▶ 給料日までの飲食の支援と滞納していた公共料金の支払いを代行しました。
息子の就労支援をし、再就職手当金等を受け取ることにより次の給料日までつなげることができ、安定した生活を過ごせるようになりました。

Bさん（５０代　男性）

本人の状況　ひきこもり、経済的困窮
世帯の構成　独居
相談内容　長い間ひきこもりの生活で母親の年金で生活していた。母親が亡くなってからは、生活保護を受給し、買い物以外はずっと家でひきこもった生活を送っていたが、このままではいけないと悩んでいた。

▶ 体力面の不安があるので、フルタイム勤務ではなく、ワークサポートの就労体験からはじめました。福祉施設の職場で就職活動をはじめ、将来への希望を見出した生活を送れるようになりました。

●問い合わせ先　六戸町社会福祉協議会　☎５５－２９４３まで

出前福祉講座

六戸町社会福祉協議会では、学校、町内会、グループ、団体で出前福祉講座を開催しております。10月から12月にかけて行った講座をご紹介します。

手話体験

10月12日と11月30日に六戸小学校と大曲小学校に三沢ろう協会から手話講師（ろうあ者）と手話通訳を招いて、手話体験を行いました。ろうあ者の日常生活や手話での会話を教えてもらいました。

ガイドヘルプ体験・点字体験

八戸盲学校から講師を招いて、11月８日に六戸小学校でガイドヘルプ体験を12月１日に大曲小学校で点字体験を行いました。ガイドヘルプ体験では、階段を使いアイマスクで目隠しした人の介助誘導を体験してもらいました。点字体験では専用の点字器で自分の名前や学校の名前を打ち、実際に指で点字を読む体験をしてもらいました。目が不自由でも、工夫しながら私たちと一緒に暮らしていることを学んでもらいました。

車いす体験

11月22日六戸小学校、11月29日大曲小学校で「車いす体験」を行いました。生徒には車いすの操作と介助を体験してもらいました。車いすの操作では、小さな段差でも車いすでは大きな障害になることを理解してもらいました。介助では言葉がけが大切で、介助される側の気持ちも理解してもらうことができました。

この他にも色々なメニューがあります

- 防災講座
- 昔遊び
- 福祉・ボランティアに関する講話

★この他にも、希望に沿った講座をコーディネートします。

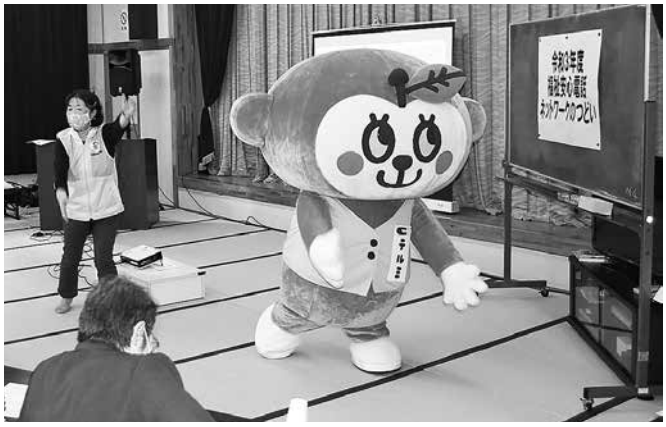
●申込方法

出前福祉講座のメニューからご希望の内容をお選びいただき、開催予定日の１ヶ月前までに出前福祉講座申込書に必要事項をご記入の上、メール、ＦＡＸ、郵送でお申込みください。

出前福祉講座についての問合せは
六戸町社会福祉協議会
55－2943　天間まで

福祉安心電話ネットワークのつどい

10月25日（月）町老人福祉センターにおいて「福祉安心電話ネットワークのつどい」を開催し、福祉安心電話設置者とその協力員、地区の民生委員合わせて22名が参加しました。はじめに担当職員から福祉安心電話の機能と協力員の役割について説明し、緊急時の対応のしかたなどを再確認してもらいました。



▲ダンスを踊るテルミちゃん

次に青森県消費生活センターから講師を招き、「かしこい消費者になろう　～消費者トラブルを防ぐためには～」と題し講演してもらい、年々増え続ける詐欺の手口について映像をとおして学んでもらいました。

最後はマスコットキャラクターの『テルミちゃん』と一緒にテルミーダンスを踊り、来年も元気で参加できることを約束し閉会しました。

いきいきグラウンド・ゴルフ大会（秋）

11月８日（月）にいきいきグラウンド・ゴルフ大会（秋）を開催し71名が参加。入賞者は次のとおりです。
（打数が同じ場合年齢の高い方が上位）

●【ホールインワン賞】　（敬称略）
北川茂志　佐賀　均　坂本ヒロ子
金沢敏美　川上元一郎　十文字つせ

【一般の部】　（敬称略）

１位	伊藤　義則	４１打
２位	苫米地サヨ	４３打
３位	佐藤　タミ	４４打
４位	高坂　　茂	４４打
５位	金沢　敏美	４７打
６位	苫米地良金	４８打
	下田アイ子	４８打

【協会の部】　（敬称略）

１位	北川　茂志	３７打
２位	小村　光市	３８打
３位	高田　源治	４０打
４位	船越　好栄	４１打
５位	佐賀　　均	４１打
６位	苫米地光雄	４２打

六戸町災害ボランティア研修会

12月２日（木）見守りサポーターや民生委員、区長など31名が参加し災害ボランティア研修会を開催しました。

今年は、県内でも８月の大雨により３つの市町村で被害があったことから、町の防災担当者から迅速に避難ができるよう避難情報と警戒レベルの解説と今年新しく作成したハザードマップや指定避難場所などの情報提供をしてもらいました。

続いて、今年、災害ボランティアセンターを開設したむつ市社会福祉協議会から、コロナ禍でのボランティア受入れや活動への制限など、コロナ禍での活動の難しさや課題について報告していただきました。

最後に、八戸学院大学短期大学部准教授の鳴海孝彦氏から、復興にはボランティアの助けも必要だが、地元住民の力がとても大事で、災害ボランティアセンター開設の際は協力してほしいと参加者に呼びかけていました。

2月の行事予定

ふれあい・いきいきサロン

ふれあいいきいきサロンと元気はつらつ教室は元気アップポイント事業の対象です。

期　日	サロン	場　所	時　間	内　容
2月 9日（水）	通　目　木	通目木構造改善センター	9：30～14：00	創作活動／健康体操
2月10日（木）	押　　込	押込公民館	9：30～12：00	防災講座／ゲーム
2月12日（土）	岡　　沼	岡沼構造改善センター	9：30～12：00	創作活動
2月16日（水）	小平・柳町	小平・柳町公民館	10：00～13：00	すいとんづくり
2月16日（水）	高　　舘	高舘公民館	10：00～12：00	創作活動
2月17日（木）	小 松 ケ 丘	小松ケ丘地域交流館	10：30～13：00	団子作り／ゲーム
2月17日（木）	沖　　山	沖山ふれあい館	9：30～14：00	ゲーム
2月18日（金）	川 原 新 田	川原新田構造改善センター	10：00～12：00	中　止
2月20日（日）	上　吉　田	上吉田公民館	10：00～12：00	ゲーム
2月25日（金）	大　　曲	大曲公民館	9：30～14：00	健康体操／打合せ会

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります。

心配ごと相談日

■時間　9：00～12：00
■場所　六戸町老人福祉センター

期　日	相談員
2月　1日（火）	人権擁護委員　田澤孝三郎
2月15日（火） 行政合同相談日	民 生 委 員　小笠原　久 行政相談委員　田中　茂樹

※担当相談員は予告なく変更する場合があります。

2月の老人福祉センター入浴日

1日（火）	4日（金）
8日（火）	
15日（火）	18日（金）
22日（火）	25日（金）

■入浴時間
10：00～15：00

元気はつらつ教室（介護予防教室）
毎週金曜日　10：00～10：30
65歳以上の方であればどなたでも参加できます。

※新型コロナウイルス感染症の状況により入浴を休ませていただく場合があります。

脳トレクイズ

最初の文字と最後の文字の間に3つ文字を入れ、自分で「しりとり」を完成させてね。（「が」⇒「か」でもいいよ）

【例】
桃太郎 → 海 → 店 → 背中 → カラス

【問題】
チョコ → □ → □ → □ → 節分

【応募方法】
★ハガキ又は、メールにしりとりの答えを書いて、住所・氏名・年齢・社会福祉協議会へのご意見はご感想を一言書いてお送りください。ご応募いただいた中から抽選で5名にクオカード500円分を差し上げます。

★応募〆切
令和4年2月18日（金）
※当日消印有効

★宛先　039－2371
六戸町大字犬落瀬字柴山3－9
六戸町社会福祉協議会行き
〈メール〉
rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp
専用フォームからも参加できます。